

平成26年5月29日

保護者・地域の皆様

港区立赤坂小学校
校長 曾根 節子

親ゼミ（5月17日）について（報告）

向暑の候、明後日の運動会を目前にして、学校中が熱気に包まれています。子供たちや教職員が一体となって練習に励むこの頃です。PTA はじめ地域の皆様には当日ご参会いただき、ご声援くださいますようお願い申し上げます。

さて、先日、第1回親ゼミを盛会のうちに終了いたしました。保護者の皆様が発起人となり、「自分たちができること」をさまざまな分野の方から学び合い、子育てに生かしたり学校に協力したりしたいという願いでスタートしたゼミです。呼びかけ当初は14名ほどの申し込みだったそうですが、当日は、40名程の保護者や地域の方々、教職員14名程の参加者で驚きました。児童の預かり保育に民生児童委員の方々にご協力いただいたおかげで、参加しやすくなったことも一因です。正に昨年度20周年で培った学校・家庭・地域の絆がしっかりと結ばれていることを実感いたしました。ご協力に感謝いたします。「赤小のリーダーとビジョンを語ろう」をテーマでしたので参加型の内容にしたもののだんだん熱が入り、語り合いの時間が短くなってしまったことをお詫びします。

以下、当日皆様から寄せられたご意見や後日、校長室に届いた質問やご意見を報告させていただきます。

記

1 よい学校とは？（ゼミで参加者に付箋紙に記入していただいた内容）

- ① 笑顔で挨拶が通い合う学校
- ② 子供が伸び伸びと楽しく通う学校
- ③ 個性豊かに能力を伸ばしてくれる学校
- ④ 卒業しても記憶（思い出）に残る学校
- ⑤ 友達同士や親同士が仲のよい学校
- ⑥ 教職員や保護者が互いに言いたいことが言える学校
- ⑦ 正しいこと・悪いことをきちんと教えてくれる学校
- ⑧ いじめがない明るい学校
- ⑨ 緑が多く環境が整っている学校
- ⑩ 安全安心な学校
- ⑪ 生き生きと活気あふれる学校

2 課題は？（ゼミで参加者に付箋紙に記入していただいた内容）

- ① 運動や遊びの時間が少ない
- ② 挨拶がよくなってきたが、しない子もいる
- ③ 親と担任・教職員とのつながり・対話
- ④ 先生が優しすぎる。叱ることもできる先生に
- ⑤ きまりを守れない児童が多い（廊下歩行・時間・登下校等）
- ⑥ がまんできない子が多い
- ⑦ 忙しすぎて睡眠が足りない児童がいる
- ⑧ オープンスペースやランチルームの環境は騒々しい
- ⑨ 花や緑を増やす（第二校庭や校庭）
- ⑩ 放課後に部活動
- ⑪ チームスポーツの場をもっと
- ⑫ 参観日に子供と遊ぶ時間確保

3 親ゼミの感想（自由記述・事務局からのアンケート結果は別）

- とても楽しく勉強になりました。曾根校長先生の話がとてもおもしろく、エネルギーで聞いている私もとても元気な気持ちになりました。時間のことなどあらためて気を付けようと思いました。ありがとうございました。（1年保護者）
(裏面に続く→)
- 親ゼミに参加いたしまして、校長先生の赤小をよくしようという強いお心に触れ、子供を思う気持ちに感銘いたしました。今まで学校に対して距離感を感じていましたが、保護者・地域・先生方との関わり方法を知り、思っているだけではなく、実際に行動して子供を見守れることがあると知り、学校をより身近に感じることができました。赤小から発信しようという先生のお言葉を旨によりよい赤小のために保護者も頑張っていきたいと思えます。（1年保護者）
- 親のための勉強会に初めて参加させてもらい、大変ためになりました。ありがとうございました。

いろいろなケースを先生・地域・保護者が考え、悩み、解決していく。守られながら子供の成長を見守る。そのことを教えていただいた気がします。また、参加させてください。多くの保護者の方に参加してもらえれば、意識も高まり、さらによい学校となるかと思います。(1年保護者)

- 校長先生や他の先生方が本当に子供たちや学校をよくしようと努力されているのを聞き、家庭でもできることをがんばりたいと思いました。赤小に入学させて本当にラッキーです。(1年保護者)
- 大変有意義なお話でした。特に、子供の叱り方で悩んでいたのが参考になりました。子供たちに赤小に通えることに誇りをもってもらえるような接し方をしようと思いました。貴重なお時間ありがとうございました。(1年保護者)
- 子供の個性・能力を育み、伸ばす、学校の教育方針に賛成です。一方、家庭教育においては、ややもすると子供の足りないところ直してほしいところに気が入ってしまうのも事実です。これまでさまざまなお子様たちを見てこられた先生方からもぜひ、客観的な観点から見て、個性や能力に気づき、フィードバックいただければ家庭教育にも生かせると思います。(1年父保護者)
- 社会では、自分の考えや気持ちを **face to face** でしっかりと伝えることがますます重要になると思います。1年生の宿題では音読の宿題があり、とても大切だと思います。その際、家庭教育でも「どうして?」「どう思う?」とか聞いたりしながらやっていますが、馴れ合いになってしまふ。学校の授業でも自分の考え、気持ちを人の前でしっかりと述べる **chance** あればぜひ増やしていただければ幸いです。学校で弁論大会やってみるというのものもあるかもしれません。(1年父)
- 今年入学した為、昨年までの赤小を知らなかったのですが、校長先生の理想とされる学校の姿、昨年度までの取り組みの成果とこれからの課題についてとても分かりやすくお話いただいたので、とてもよかったです。ありがとうございました。いつもは自分の子供しか目がいかないもので、これからは、赤小全体にも目を配れるようにしたいと思いました。(1年保護者)
- 校長先生が「変わる」と言った言葉に胸が熱くなりました。みんなで変わって日本を元気にしたいです。(1年、4年保護者)
- とにかく、前向きにやる気をもらいました。(1年、2年保護者)
- 「明るく元気な子」に育てるためにどうすればよいのか、具体的に分からなかったのですが、校長先生の学校運営方針を聞き、理解できました。親が率先して挨拶や整理整頓ができるようにがんばらなくてはと思いました。(2年保護者)
- 親ゼミ1回目とても楽しみました。親ゼミ成功の鍵はみんながどれだけ本音トークできるかだと思います。1回目としては、半分くらい本音が出ていたと思います。今後さらに発展していく親ゼミにしたいですね。(3年保護者)
- いつも時間にルーズな子供を怒っていましたが、今後は、説得力のある叱り方を心がけようとおもいました。ありがとうございました。(3年保護者)
- 「よい学校とは何か」「赤坂小の課題は何か」についてみなさんで意見を出し合い、考え、まとめていく進め方が新鮮でした。課題を共有し、解決していくためにこうして集まることができることがすばらしいと思いました。校長先生のお話で、高学年中心に学校がよい方向に変わってきていることを知り、私たち保護者も同じ意識をもって努力しなければと思いました。
(4年保護者)
- 来年1年になる娘がいるのですが、赤小にお任せしようと思いました。お任せというか一緒によい学校になるようにしていけたらいいですね。(4年保護者)
- 今回は、お誘いいただきまして参加しました。とても楽しくてあっという間のひとときでした。学校・先生方に身近にかんじることができ、また、次回も参加させていただきたいと思います。
(4年保護者)

4 質問と回答 ●回答

- 小1でも週2回英語の授業があるのは、昔と比較すると大きな変化ですし、とてもよいことだと思います。一方で、毎日5分でも（全校朝会、ランチタイム、帰りの会等）継続的に英語に接するという機会も重要に思います。いずれにしても赤小として英語に対する教育方針なのか、家庭教育との役割分担をどう考えているのかももう少し詳しくお伺いできれば幸いです。（1年父）
- 英語教育は、港区の方針で文部科学省特区として認定されて独自のカリキュラムで国際科として取り組んでおります。港区の地域柄、多くの外国の方々が生住在勤し、各学校でもお子様が学んでおられます。コミュニケーション力を高め、外国の文化を知り、日本の文化を伝えることができるようにNTが授業時間だけでなく休み時間や給食、放課後も職員室に在勤しております。子供たちはいつでも話しかけて教わった英語力を生かし、日常的に関わることができるので、子供たちに積極的に話しかけるように指導します。
- 朝や夜のニュース番組は子供に見せたほうがよいのか、見せるならいつ頃からがよいのか知りたいです。ニュース番組は事件が多く、躊躇しています。今は、Eテレのアニメを朝に見ています。（2年保護者）
- あえて意図的に見せる必要はありませんが、おうちの方が朝や夜は、見ると思います。最近民放のニュースの中には特定の事件を繰り返し報道することもあるので番組は選んだほうがいいかもしれません。私は、何年か前までNHK週刊こどもニュースを見せて一緒に考えたりしました。今は、池上 彰の学べるニュースなどは高学年に分かりやすいと思います。小さいうちから小学生新聞を読ませると大人にもわかりやすい解説で納得します。TVは、だらだら見はさせないで選んで視聴させるとよいでしょう。
- 青小からいらして1年が経ち、今後どのように運動（クラブ活動・放課後部活動）に力を入れてくださるのか？楽しみにしています。（3年保護者）
- 青山小の部活動は、はじめの取り組みは東京都スポーツ推進校として支援があり、始めた活動です。その後、推進校の支援が解除されて、PTAが全面協力でボランティア活動として運営しています。学校の教育課程外の活動です。赤坂小でも要望が大きくなったときは、PTA常任委員会に提案し、放課後部活動委員会を発足すれば、可能です。コーチや運営方法などは助言できます。体力・運動能力向上におきましては、授業や休み時間等の日常的な運動について指導を工夫してまいります。
- 学校にとって、校長にとって「困った親」とは？私も母親として意外と自覚していない点などがあるのでは？と思ひまして質問しました。（3年保護者）
- 応えづらい質問ですが、あえて申し上げれば、①担任や管理職などを信頼しないで子供の前で批判する親 ②基本的な生活習慣（食事・睡眠・排泄・挨拶・マナー等）の家庭でやるべきしつけをしない親 ③問題が生じたときに、担任や副校長・校長と相談せずすぐに教育委員会に直接抗議する親 ④実際に学校行事や保護者会等に顔を出さずに、メールや風評をそのまま鵜呑みにしてしまう親